



# 新成人の君に贈る20冊



新成人おめでとうございます。

大人としての新たな一步を踏み出した君たちに、お薦めしたい本のブックリストです。  
読書によって、君たちの人生が豊かになるよう、心からのエールを込めて贈ります。

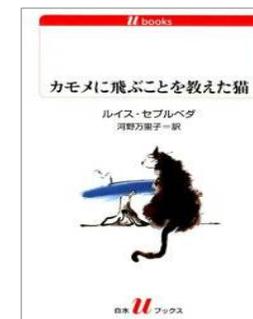


佐藤 一夫 市長

## カモメに飛ぶことを教えた猫

ルイス・セプルベダ／著  
河野 万里子／訳  
白水社

黒猫がカモメとの約束を守り、卵からかえったひなに飛ぶことを教えるために奮闘します。  
優しさ、仲間との絆、困難にも負けない勇気を与えてくれる心温まる物語です。劇団四季でも上演されています。



東海林 亮二 副市長

## 坂の上の雲

司馬 遼太郎／著  
文藝春秋

この小説は明治維新から近代国家へと歩みだした日本が舞台です。  
「勝つて兜の緒を締めよ」この言葉は皆さんも耳にしたことがあると思います。  
長編ですが読み終えると、「古人曰く、」続くこの言葉がとて深く、重く感じられます。



和田 隆彦 教育長

## 僕らが毎日やっている最強の読み方

池上 彰／著 佐藤 優／著  
東洋経済新報社

皆さんは、毎日の大量の情報をどのような方法で得ていますか？  
この本は情報に振り回されることなく「新聞」「雑誌」「ネット」「書籍」等を通して、正しく知識と教養を身に付ける一つの技法が紹介されていますので、おすすめします。





### モモ

ミヒヤエル・エンデ／作 大島 かおり／訳  
岩波書店

児童文学不朽の名作。人の時間を掠め取る「時間どろぼう」から、人間の時間を取り返してくれた不思議な女の子モモの冒険譚。本当の「豊かさ」とは何かを考えさせてくれる一冊です。



幸福論 あなたを幸せにする93のストーリー  
アラン／著 田中 裕子／訳  
幻冬舎エデュケーション

フランスの哲学者アランが、人生、人間関係などをテーマにあたたかく、力強い言葉で綴る93のお話。読みやすい現代語訳ですので、一日一話読んで幸せになりましょう。



### ゆざわざわ

ゆざわざわ編集部／取材・編集  
ゆざわざわ編集部

立ち止まっても大丈夫！ 近くにも遠くにもこれを読めば湯沢魂がざわざわしてきて、一歩踏み出したいくなること間違いなし！ ふるさとはいつでもここで待っています。



### おおきくなるって

中川 ひろたか／文 村上 康成／絵  
童心社

おおきくなるってことは、できることが増えること。自分にも、ほかの誰かにも優しくなれること。大切に見守ってくれた人たちがいるから今ここにいるということ。そして次は君たちが…。



### 湯を沸かすほどの熱い愛

中野 量太／著 文藝春秋

双葉は、持ち前の明るさと強さで娘を育てていたが、突然の余命宣告を受ける。その日から、彼女は「やっておくべきこと」を決め実行していく。母の愛に胸が熱くなる物語。



### 人間の土地へ

小松 由佳(秋田県出身)／著  
集英社インターナショナル

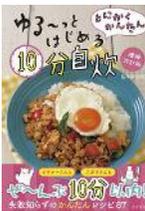
死と隣合わせの体験をした著者が、常人では到達不可能な心境を描いたドキュメンタリー作品。これから社会に漕ぎ出す君たちの目には、どんな風に映るのだろうか？



### Story for you

講談社／編 講談社

昨年のコロナ禍の夏にWebサイト「tree」に発表された62編のショート・ショート集です。短いからこそ心に残る物語の世界をじっくりゆっくり楽しんでください。



### とにかくかんたん

ゆ〜つとはじめる10分自炊

島本 美由紀／著 東京書店

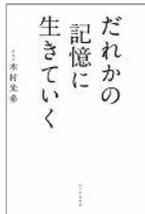
これから自炊をはじめる学生さんや、新社会人に向けた「ひとり暮らしのための料理本」です。料理が初めての方でも電子レンジがあれば大丈夫！ぜひチャレンジしてください。



### 超訳吉田松陰語録 運命を動かせ

齋藤 孝／著 キノブックス

吉田松陰は19才で兵学師範になり30才で亡くなった。謂わば君と同年代。幕末の激動期彼は何を考え、何を語ったか。コロナ後の新時代を生きるものへきつとよりそってくれる言葉達。



### だれかの記憶に生きていく

木村 光希／著 朝日新聞出版

著者は納棺師(おくりびと)。本の一節に「故人の軌跡を知り、遺された人達のどう生きるかを支える仕事」と。職業人、いや人としての深く温かいものに触れることができる一冊です。



### 品が伝わる

オトナの言い方が身につく本

唐沢 明／著 ぱる出版

あいさつや日常生活、仕事において言葉は表現の仕方ひとつで印象が大きく変わりますね。この本には社会人として身につけたい情報もりたくさん。場に応じた言葉をさり気なく使える素敵な大人になれる一冊です。



### 20歳のソウル

中井 由梨子／著 小学館

闘病の末、20歳でこの世を去った浅野大義さんの実話ストーリー。彼の生きた証は、彼の曲と吹奏楽の仲間と共に永遠に残ります。生きる日々を大切に、自分の道を歩んでください。



### 線は、僕を描く

砥上 裕将／著 講談社

両親を亡くした大学生の主人公が、水墨画と出会って成長していく物語です。水墨画は「黒」ですが、これから成長して「何色」にもなれるみなさんへおすすめしたい一冊です。



### FACTFULNESS

ハンス・ロスリング／ほか著  
上杉 周作・関 美和／訳 日経BP社

当たり前話題にしている事が正確な数字に基づく事実でなかった。「ファクトフルネス」は自分への〇×クイズです。あふれ出る情報が真実か、を冷静に判断できる力をつけてください。



### 永遠のゼロ

百田 尚樹／著 太田出版

これから先、自分自身で道を開いていく新成人の皆様へ、意志とは違う道を進まなければいけなかった若者達の人生を知ってほしいと思いこの本を贈ります。悔いのない自分の道を進んでください。



### “It(それ)”と呼ばれた子

デイブ・ペルザー／著 田栗 美奈子／訳  
青山出版社

この本は児童虐待を受けた本人の書いたとても重い本です。読んでいるうちに何とも言えない悲しい思いが広がっていきます。でも明日への希望を持ち続け生き抜いてきた人の本なのです。



### ぼくを探しに

シェル・シルヴァスタイン／作  
倉橋 由美子／訳 講談社

欠けた丸であるぼくは足りないかけらを探し続けます。その姿は、読むときによって感じ方が変わります。立ち止まることで見えていたものがあることに気づく、そんな一冊です。

### お問い合わせ先

湯沢市立湯沢図書館 TEL 0183-73-3040  
湯沢市立雄勝図書館 TEL 0183-52-5387  
湯沢市稲川カルチャーセンター TEL 0183-78-5557  
皆瀬生涯学習センター TEL 0183-46-2033

